

# オープンイノベーション委員会 「次世代経営者勉強会」を開催

オープンイノベーション委員会は7月10日、「これから経営者になる君たちへ」をテーマに「次世代経営者勉強会」を都内で開催した。多くのスタートアップ経営者や今後企業を担う次世代経営者などが参加した。新浪代表幹事および藤田晋サイバーエージェント代表取締役を迎え、経営者としての挑戦や苦悩、挫折を乗り越えた経験などを対談形式で語っていただいた。ネットワーキングの時間では多くの参加者が活発な情報交換や意見交換を行った。



## 登壇者発言要旨



新浪 剛史

経済同友会 代表幹事  
サントリー  
ホールディングス  
取締役社長

リーダーシップの基本はロールモデル、要するに自己犠牲である。自分と同じ思いの人をどれだけつくるかということだろう。何のために働くのか、10年後にどんな景色を見たいのか、自身で考えて動くことが重要だ。

サントリーは創業者、鳥井信治郎の「やってみなはれ」や利益三分主義といった非常に強いカルチャーを持った会社だ。それを皆で受け継ぎ、同じ価値観を持っていければよいと思っている。外部から転籍してきた人にも、ぜひそのカルチャーを吸収した上で、自分の持っているいろいろな強みを発揮し貢献してもらいたいというモデルだ。

「やってみなはれ」というのは「やり抜く」ということだ。今やりたいことがあったら、ぜひ挑戦していただきたい。皆さんは私よりもずっと若いと思うので、やらない方がリスクだ。「失われた30年」と言われる時代から転換し

つつある今は、面白いことを自分でやろうと思えばできる時代だ。会社にならずと寄りかかるようなことは絶対にしないでほしい。



藤田 晋

サイバーエージェント  
代表取締役

サイバーエージェントは自由と自己責任を大事にしている。放っておけるためには、周りの目がきちんと行き届いていることが重要だ。当社は新卒採用で働き続けている人が多いが、同期入社でお互い仲が良い関係があると、不正が起きづらくなる。

ネットビジネスにかかわる中で、やりたいことをローリスクで始められ、さまざまな経験を積んで、失敗しても人が育つからそれでいいという考えだった。それは今も変わらない。やはり何かをやるということが非常に重要だと思う。

私は「よくモチベーションが保てますね」と言われることが多いが、実際には下から火であぶられている状態なので頑張り続けるしかない、という表

現が正しい。ここで一番適切な言葉は「責任感」だ。自分でやると言ったがために、やり続けるしかないような状況に自分を追い込んでいる。それが私の原動力といえる。ビジネスの世界は信用社会だ。言ったことは守らなければならない。

## モデレーター



南 壮一郎

経済同友会 幹事/  
オープンイノベーション  
委員会 委員長  
ビジョナル  
取締役社長

経済同友会はこれまで大企業を中心に運営されてきたが、スタートアップの経営者、大企業、子会社の若手経営者など、いろいろな方々を交えて変革を遂げようとしている。新規事業もそうだが、変わろうとしているタイミングが一番面白い。ぜひこの変革のタイミングに入会を検討いただければと思っている。

## ビジネスメディアPIVOTで配信中

▶前編



▶後編

